

やまがた 議会だより

平成29年1月

No. 119

発行 〒390-1301 長野県山形村議会（代表 平沢恒雄）
編集 議会広報編集特別委員会 TEL0263-98-3111 FAX0263-98-3078



市民タイムス提供

初の休日議会

メモを取ったりしながら一般質問を傍聴する皆さん

- | | |
|----------------------|----------------|
| ■第4回議会定例会／主な議案……………2 | ■一般質問 ……………4～7 |
| ■第5回議会臨時会 ……………2 | ■議会日誌 ……………7 |
| ■委員会活動報告……………3 | ■傍聴席から一言……………8 |

山形村ホームページ <http://www.vill.yamagata.nagano.jp/>

平成28年 第4回議会定例会

第4回定例会が12月9日開会し15日まで7日間開催された。

平成28年度一般会計補正予算など村が提出した議案11件及び議員発議による意見書1件を審議し、いずれも全会一致で可決した。

農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定など条例5件、連絡班集会施設用地の負担付き寄付の受け入れ2件、平成28年度一般会計予算など補正予算4件を原案通り可決した。

意見書は、給付型奨学金制度の創設等を求める請願の採択を受け、議員発議により内閣総理大臣、文部科学大臣及び衆参両院議長あて意見書を可決した。

一般質問は11日の日曜日に初の休日議会として行ない、11人が登壇し、多くの傍聴者の注視の中、村政の課題をただした。
(増澤 武志)

円通門解体補修工事の設計費補助に50万円

小学校

・低学年ブレイルームのガラス、わくわく廊下サッシ等の修繕費として百1万7千円

・要保護準要保護児童の新中学一年生の入学準備費として松本市に合わせ、前倒し支給するため23万6千円

雨水被害関連

・横吹沢他の治山事業費として3百9万3千円

○平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出総額に千二百5万5千円を追加し総額を12億1千2百15万2千円とするもの。

○平成28年度介護保険特別会計補正予算(第4号)
歳入歳出総額に3百96万2千円を追加し総額を7億6百31万9千円とするもの。

請願

○第4号

給付型奨学金制度の創設等を求める請願を採択。

発議

○下本郷並びに美野里ヶ丘連絡班から集会施設用地の負担付き寄付の受入れを承認

請願について議員発議により意見書を内閣総理大臣、文部科学大臣、衆参両院議長あて提出することを採択

平成28年 第5回議会臨時会

平成28年第5回臨時会は11月29日に開催された。

者等の給与に関する条例の一部を改正する条例について

主な内容は、人事院勧告実施に伴う村職員給与改定等で条例改正3件、補正予算3件を審議、全会一致で原案通り可決した。

○一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

条例改正

○議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
○特別職の職員で常勤の

○介護保険特別会計補正予算(第3号)
○水道事業会計補正予算(第2号)

条例制定・改正

○山形村農業委員の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について

○山形村税条例の一部を改正する条例について

○山形村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

○山形村手数料徴収条例の一部を改正する条例について

○山形村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について

音声告知放送

正予算(第5号)
歳入歳出総額に6千80万1千円を追加し総額を37億6百60万5千円とするもの。

・老朽化した音声告知放送用のパソコン更新に1千4百41万円
・家庭に配置された音声受信機の更新を見据えたもの。

農地費

・多面的機能支払交付金事業に1千7百72万8千円の増額

「みどり」と環境を守る会」による農地及び農業

住宅リフォーム事業

・補助金予算として5百万円追加
総額2千5百万円とするもの。

道路舗装工事

・工事請負費5百55万2千円追加
地元要望の道路舗装工事費として追加するもの。

文化財保護

・清水寺の本堂屋根及び

補正予算

○平成28年度一般会計補

総務産業常任委員会視察 報告

地域おこし協力隊など若い人たちのエネルギーで

森林資源の有効活用

10月17日から18日にかけて、総務産業常任委員会では福井県池田町と富山県朝日町の行政視察を行なった。

池田町は、九頭竜川の水源地で面積の90%が森林で、その資源の再生と観光振興を図るための施設「ツリーピクニックアドベンチャー」を視察した。

施設は、アドベンチャーパーク・アウトドアエリア・アドベンチャーボート・メガジップラインから構成され、自然を残しながら大人も子供も楽しめるようになっている。

本年4月にオープンしたばかりであるが、9月末ですでに3万人の利用があり売り上げも1億円以上と大変好調のようである。利用者のほとんどが町外から来られ、他の町内観光施設も相乗効果が見られている。

池田町では、その他、資源循環型農業・有機農業・農産物のブランド化など基幹産業の農業での活性化を図り、近隣都市に設けたアンテナショップでの販売を通じて、高齢者の生きがいづくりなどにも取り組んでいる。

朝日町は、旧北陸街道宿場の泊地区市街地の空洞化・高齢者の買い物対策・老朽化の著しい図書館等の更新などを勘案して作られた「五叉路」という複合施設を視察した。

商工会が指定管理者として運営にあたり、買い物弱者対策の「まめなけ市場」や社会福祉協議会・観光協会・町民バスの発着ターミナルなどの多岐にわたる管理経費や市場の出店商品の確保など運営上の

課題は多いそうである。周辺商店街の空き店舗の活用などの対策を考えながら、賑わい作りにより活性化を図るなど参考にする部分が大いにあった。

新居 禎三



メガジップライン

福祉文教常任委員会視察 報告

10月13日(木)～14日(金)

富山県砺波市埋蔵文化センター

文化財保存全般についての砺波市の取り組みについて、その実態と考え方を視察した。大変参考になり、今後の山形村もかくあるべきと実感した。

新潟県上越市教育委員会

コミュニティスクールの先進的取り組みの実態を視察した。山形村より数歩前進していて、教えを請うことが多々あった。

上条 浩堂

松塩地区広施設組合

議員・理事者視察 報告

11月24日(木)～25日(金)

東京都調布市 クリーンプラザふじみ

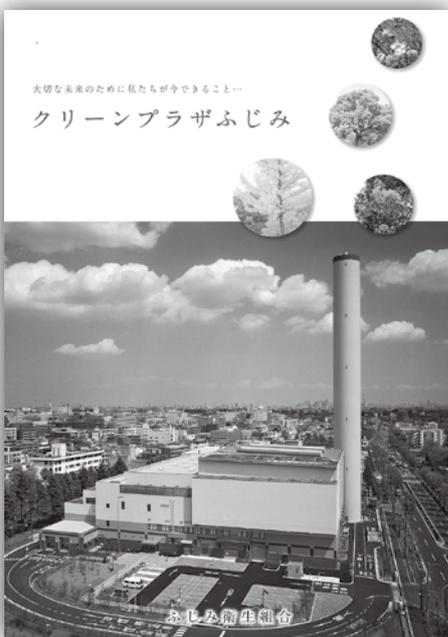
平成25年から稼動した最新のごみ焼却施設視察。

埼玉県寄居市 ツネイシカムテック(株)

焼却済み灰の最終処分場の委託先視察。

ごみの焼却によって発生する排ガス中のダイオキシン類、ばいじん等を最新の処理技術により除去しており、更に臭気・騒音対策にも万全を期し、環境に配慮した施設である。そのため調布市街地と三鷹市役所に隣接した場所であるにもかかわらず建設されている。

(平沢 恒雄)



そこが聞きたい

一般質問

12月議会定例会は11日(日)に一般質問が行なわれ、村政全般に亘って11人が質問した。

有害獣被害防止柵設置について

村長 全区から回答を得ていない



小林武司議員

Q 地権者、区、地域住民の賛否の状況はどうか。また、今後の方針は。

A 村長 今年の8月に、全区長の皆さんへ有害獣の被害状況と、被害対策の有害獣被害防止柵設置計画について、村の考え方を説明し、連絡班・地域住民の方へ伝えてもらい、意見をいただくようお願いした。地域が山裾沿いに接しているかによって、区の中でも意見が分かれているようだ。設置について、村が資

材を提供し、作業は地域と共働して実施していくことについては、作業内容や作業時間も具体的でないことから、判断ができないなどの意見もある。

まだ全区からの意見や要望等の回答は得ていないが、少し時間は要しても、各地区で説明会を開催し、設置や維持について地域と共有できる方法を調整していきたい。本年も鳥獣被害対策実施隊やシルバー人材センターに依頼し、巡回パトロールを実施している。また、ハード面では里山沿いの緩衝帯整備も実施している。

その他に、農業地帯の交通安全向上対策について質問した。

アイシテイ東の道路の県道バイパスは

村長 バイパスの要望はしているが、思わしい進展はない



西牧一敏議員

Q アイシテイ東の道路を県道のバイパスにすることは考えているのか。

A 村長 期成同盟会を組織し、毎年県に

記念碑より北側の歩道整備は現在のところ考えていないが、建設事務所には良い方策がないか、要望をしていきたいと考えている。

Q 焼却ごみ袋の値段を下げることは考えていないのか。

A 村長 焼却ごみの経費は、袋代として村民に一部負担をお願いしている。平成26年4月から、値下げをした。山形村は村と村民とが応分の負担をしているので、今後理解をいただくよう努めていきたい。

Q 蜂や蛇など、村民からの苦情はどのように対処しているのか。

A 村長 鳥や小動物、昆虫等の苦情においては、個人の敷地内のことならば個人での解決をお願いしている。具体的には蛇など野生のものは駆除できないので相談に乗っていない。

Q 空き家対策は進んでいるのか。

A 村長 人口が順調に増えてきていたのに、対策はしていない。次年度に向けて、空き家対策を考えていきたい。

多子世帯向け保育料の軽減支援 早期推進を

村長 財政状況を見ながら前向きに検討する



大月民夫議員

Q 人口減少の危機感を募らせ「3歳児以上の保育料無償化」に踏

み切る自治体は、この中信地区でも増えてきた。当村も早期にその決断をすべきと考えるが、当面は本年度より国が示した、これまでの「同時入所要件」の撤廃を図り、児童に生計同一の兄・姉がいる場合は、保育料は第2

子は半額、第3子以降は無償とする制度を、国は所得制限を設け対象者が限定されているが、当村は全ての多子世帯向けに適用する支援策を決断願いたい。

A 村長 提言いただいた支援策は、財政状況を見ながら、前向きな検討に着手する。保護者、地域の方々、行政が一体となり未来の山形村を担っていく子どもを育み、子育てしやすい環境を整えるため、よ

り一層力を注いでいく。子育て支援を充実させることが長期にわたる少子化対策、人口対策であり、地域づくりであると思っ

「山形村で子どもを育てて良かった」「山形村に住んで良かった」と、言ってもらえる村づくりをしたい。その他に「空き家適正管理の推進」並びに、「松本空港・国際化に向けた山形村の将来構想」について質問した。

村長の政治姿勢について

村長 日本一明るく元気な村づくり



竹野入恒夫 議員

Q 「百瀬久から」のおたより、第6号を見ると、「日本一明るく元気な村づくり」はスロガンではなく、公約で

上げたと言っている。公約ならば、『日本一明るく元気な村づくり』の施策が必要だ。少年野球や柔道・空手・陸上・少林寺拳法等の子どもたちが、全国大会で活躍してくれた。これが山形村の元気だと言っているが、これは、他力本願であつて、村長の公約では、な

村の中心部の空洞化について

長 複合施設の内容や財源確保に
村 具体的な研究を進めて参りたい



籠田利男 議員

Q これからの商業振興、買い物支援策は。

A 村長 商工会と連携し、地域小売店の振興、活性化の推進を行

い。村長の考え方は。

A 村長 私の基本的な人材育成、また村づくりは、誉めて育てる方式だ。元気とは、良

さの発見である。私の方針は、良い所を伸ばし悪いところを改善することであるが、ポイントは、山形村の良さを発見し、良さを生み出し、山形村の魅力を積極的に村内外に発信して日本一を目指す考えだ。結果は、山形村の実績と捉えていただきたい。内容的にスポー

口等、新たな人の流れを想定した仕組みや施設整備など必要かと考えている。

Q 山形村は道祖神の村。歴史、民俗の資料対策は。

A 教育的に学び、ふるさとを愛し、誇りと愛着を持つことが大事。学んだ成果を発揮できる場づくりや活動が重要。

Q 村民が集い、ふれあう複合的な施設の対策は。

A 村長 村民が気軽に買い物や、加工施設（六次産業化）、伝承

ッなどの全国大会は、日本一の可能性が高いので山形村としては、盛大に激励をしてきた。常に上位を目指す元気を評価する。

その他に、健康と観光・健康寿命延伸・山形村の人口ビジョン・4年間の村長の実績・防災無線・住民サービスの向上・ふるさと納税の推進・地域おこし協力隊の活用について質問した。

館、図書館などを利用できる、ふれあい創出の場、複合的な施設を考え中心市街地の活性化を図る必要がある。



JA跡地

新たな品目の資源化でゴミ減量は

村長 現状では品目を増やす考えはない



新居 禎三 議員

Q 民間事業者の資源ごみ回収が活発になり、村でのリサイクル量が減少している。新たに資源としてリサイクル活用できる品目を回収する考えはあるか。

A 村長 量自体は減ってはいるが、収集運搬委託料は、回数等の変更がない現状では変わらず、新たな品目を増やすことは考えていない。

Q 近隣自治体で実施されている食用油の回収はできないか。

A 住民課長 回収後の再利用等を十分研究をしなければならぬ。

Q 可燃ごみの内、生ごみのたい肥化などの取組はできないか。

A 住民課長 先進事例等を研究課題とし

たい。

Q 資源ビンの回収を、他市町村が行なっているようにコンテナ等で回収に変更し、少量でも出せるように変更はできないか。

A 村長 村民の皆さんや地区の役員さんの協力が必要で、ゴミ収集場所の管理をされている方に、コンテナの設置・片付けの作業を行なっていたらかなければ実施できない。

その他に、高齢者の運転免許返納について質問した。



色ごとに袋づめてのガラスビンの回収

有害獣被害防止柵の設置は将来禍根を残す

村長 理解を得たい。地域と共有できる方法を調整する



議員 澤武 志 増

有害獣被害防止柵を山

裾に設置する計画がある。資材を村が購入し設置は区民が行なう「官民協働」の事業だ。しかし、村内では温度差があり理解が進まない現状がある。

Q 鳥獣被害の現状は。

A 村長 27年度実績は鳥獣合計で2百52アール、金額4百79万円である。捕獲数は鳥類1千98羽、獣類81頭（内熊3頭）。

Q 捕獲檻による成果は。

A 村長 サルの大型檻を上大池と小坂に設置した。27年度28頭、28年度29頭と大きな成果があった。

Q 柵に係る村民の期待又は懸念はどうか。

A 村長 8月に区長に説明した。全ての

区的意思を把握していないが、ハードルは高いと思う。地権者、別荘住民の理解、波田地区が設置しないので効果に問題がある。

Q 柵を作る弊害はないのか。山へ簡単に

は入れないことで散策やウォーキング、森林セラピーができない。間伐や下草刈りに支障が出る。山火事の時はどうする等。

A 産業振興課長 山林整備に支障があると認識している。ゲートが多数必要になる等考えられる。

Q 塩尻市の北小野地区ではICT技術を使った獣センサー等を使い被害面積が85%から2年後にゼロにした実績がある。

A 村長 承知している。

Q 塩尻市のシステムを共同利用する方法はどうか。広域連携の鳥獣被害対策事業で地方創生交付金を活用する方法

放課後デイサービスの負担軽減を

村長 前向きに検討したい



議員 大池 俊子

障がい児の放課後

デイサービスは「すばる」で4月より社協により行なわれているが、山形村において障がい児の状況は。

A 村長 保育園では、山形保育園では6名、やまのこ保育園では4名

がある。全額国費できると聞いている。

A 村長 研究する価値がある。検討したい。

Q 塩尻市は柵を設置しない方針だ。森林木材資源を活用する上で

支障となるからだ。将来、禍根を残さないよう柵は設置するべきではない。慎重に対処すべきだ。

A 村長 時間を要するが、理解を求め、地域と共有できる方法を調整したい。

他にも支援の必要な園児は増えている。

小学校では、特別な教育支援が必要な児童は28名おり、この他に課題が認められる児童も若干名。

学習面や生活面で困難を抱える児童の在籍率は増加傾向。

放課後の対策は。

A 村長 児童館でも支援学級や障がい児を預かっている。スキルアップ研修を受け、加配を付けている。長期休みは10名程にもなる。

放課後デイサービスは、児童発達支援管理責任者を置き、療育に重点を置きサービスを行なう。登録者は15名程で、利用は常時11名程である。日中

一時は近隣市村の事業所を紹介している。

Q 利用料の負担軽減を村単独で行なわな

いか。

A 村長 この事業で近隣で補助しているところは少ない。障害を持つ家庭は、医療費や通院、補装具等、様々な苦労や負担があると承知している。近隣市町村の動向を見ながら前向きに検討したい。

災害への備えは

村長 災害に対する意識を高める



議員 赤羽 千秋

Q 避難地トレセングラウンドと新たな防災拠点の確保は。

A 村長 仮設住宅は、縦横10メートルで可能と想定している。収容人員は地域防災計画では、1万1千5百㎡に1万1千5百人と記載されている。1㎡に1人ということになる。防災拠点の確

保は、調整しながら進めていきたい。

Q 各区の公民館等への寝泊りについて。

A 村長 寝泊りの想定はしている。安全管理として重要なことなので、検討、見直し等を行なっていく。

Q 道路の安全性確認、ブロック塀などの建替の補助は。

A 村長 現在のところ具体的に考えてはいない。他市町村の状況も参考にしながら検討す

るとともに、災害に対する意識を高めていきたい。

Q 家屋の耐震性の現状、耐震化補助制度

A 村長 村としては、全村家屋の耐震調査は実施していないので正確な戸数を把握できていない。昭和56年5月31日以前に着工した一戸建ての在来木造住宅で、補助事業による精密診断を受けた結果、危険、あるいはやや危険と診断された住宅で一定要件を満たす補強に対して90万9千円を限度に補助を行なうという内容の補助制度があ

地域活性化策は

地域産業を活性化させること



三澤 一男 議員

Q 人口対策の方法として山村留学を行なうことで人口の増が考えられるが、村はそのような考えはないかお伺いしたい。

A 村長 山村留学については、自然体験

や生活体験の少ない都市部の子ども達に、本物の体験活動を行うことで自立心や協調性を高める教育活動となっている。一方、受け入れ側としては、児童数の減少で、複式学級にならざるを得ない自治体が多くあり、本村では現時点では考えていない。

Q 定住促進について伺いたい。子育て世

帯が定住する判断として生活基盤の安定が必要だが、村の基幹産業の農業者への新規就農制度はあるが、他業種への創業支援は。

A 村長 他業種・商

工業については、取り巻く環境も厳しく支援のないのが現状だが、地域産業が活性化することで雇用の創出が生まれ、定住へとつながる。商工会と連携しながら、起業につながる情報提供や支援体制の強化を図っていく。その他に、地域おこし協力隊について質問した。

健康寿命延伸計画を伺う

4つのキーワードを基に取り組む



上条 浩堂 議員

Q 健康寿命延伸計画を伺う。

A 村長 本年度から健康寿命延伸推進委員会を立ち上げ、同検討委員会の報告書を基に、健康・栄養・運動・こころの健康をキーワードと

して、今後の取組について意見をもらった。

ウオーキングコースは新たなコース設定の必要性を含め、検討していく。健康体操は新たな体操を作成中。高齢者生きがいづくりについては、介護予防の推進や総合的な支援の充実が必要と考えている。認知症初期集中支援チームについては更に周知を図っていく。生活

地域包括支援センターは、福祉・介護・健康など様々な分野から総合的に本人やその家族を支えるための窓口として活動している。

議会日誌

10月

- 5・6日 松本広域連合視察研修
- 7日 松塩地区広域施設組合議会運営委員会(松本市)議長
- 8日 やまのこ保育園運動会
- 11日 花壇片付け
- 13・14日 福祉文教常任委員会視察研修
- 17・18日 総務産業常任委員会視察研修
- 19日 鉢盛中学校議会第一回定例会(トレン)
- 21日 議長・福祉文教委員
- 21日 議会広報編集特別委員会
- 21日 松塩地区広域施設組合議会
- 21日 10月定例会(松本市)
- 24日 議長・福祉文教委員長
- 24日 道祖神と新そば祭り実行委員会
- 25日 全員協議会
- 26日 議会運営委員会
- 26日 県町村議長会定期総会(長野市)
- 27日 議長
- 27日 区三役・議会議員研修会

11月

- 1日 社会福祉協議会理事会
- 2日 暴力団追放県民大会(松本市)議長
- 4日 東筑摩郡議長会県議会陳
- 5日 情・知事部局要望
- 5日 第60回山形村総合文化祭開会式
- 7日 議長
- 7日 松塩筑木曾老人福祉施設組合定例会(塩尻市)
- 9・10日 町村議会議長会全国大会(東京都)
- 10日 国会議員要請
- 10日 議長
- 10日 県地方自治政策課題研修会(長野市)
- 12日 そば祭り交流会
- 13日 議長・総務産業委員長
- 13日 道祖神と新そば祭り
- 16日 国道158号線奈川渡改良起工式(松本市)
- 17日 議長
- 17日 鉢盛中学校議会第一回定例会
- 17日 全員協議会
- 17日 総務産業常任委員会
- 19日 議長
- 19日 議会・農業委員会・JA三団体懇談会
- 19日 首都圏信州山形村人総会(東京都)
- 21日 議長
- 21日 安曇野松筑広域環境施設組合定例会(安曇野市)
- 22日 議長
- 22日 松本広域連合議会定例会(松本市)
- 24日 議長
- 24日 信州松本そば祭り反省会
- 24・25日 松塩地区広域施設組合視察研修(東京都・埼玉県)
- 27日 議長
- 27日 松本ハイランド農協懇談会(松本市)
- 28日 議長
- 28日 東筑摩郡人権フェスティバル
- 29日 議長
- 29日 議会運営委員会
- 30日 議長
- 30日 第5回議会臨時会
- 30日 道祖神と新そば祭り実行

12月

- 9日 第4回議会定例会開会
- 10日 福祉のつどい
- 11日 一般質問
- 12日 総務産業常任委員会
- 13日 福祉文教常任委員会
- 14日 夏祭り山形じゃんずら幹事会
- 15日 議長・副議長
- 15日 定例会閉会
- 21日 議会運営委員会
- 22日 議長
- 22日 議会広報編集特別委員会
- 4日 松本ハイランド農協新年会
- 6日 議長
- 6日 役員新年会
- 6日 松本ハイランド農協新年会
- 9日 副議長
- 9日 消防団出初式
- 10日 議長
- 10日 コンビニ交付セレモニー
- 11日 議長
- 11日 議会広報編集特別委員会
- 15日 議長
- 15日 議会運営委員会
- 15日 東筑摩郡村長会(松本市)
- 16日 議長
- 16日 松本ハイランド農協懇談会(松本市)
- 17日 議長
- 17日 総務産業常任委員会
- 18日 正副議長
- 18日 山の神祭り
- 18日 議長
- 18日 総務産業常任委員会
- 20日 議長
- 20日 福祉文教常任委員会
- 20日 全員協議会



若い皆さんの傍聴に期待

山室ふぢを(上大池)

初めての議場は、重い扉から入ると、とても厳肅な空気で、眼下には日頃お見かけする議員さんの後姿、正面には村長さんと行政の方、2台のテレビカメラ、時計、記者の方が見え、私も背筋が伸びました。

議員さんの質問は、身近なゴミ、健康面、子育て等を詳細に調べたものでした。今回特別短い時間のためか、追求の仕方が弱いと思いました。

行政の回答弁は、差し障りなく型通りに経過し、物足りなく感じました。山形村は自然の豊かな村ですが、今、すぐ近くの

12月に山形村の議会が初めて日曜日に行なわれました。以前に議会の傍聴をしましたが、1桁くらいの傍聴人でありました。今回議会の傍聴に行きましたところ、今までと違い沢山の傍聴人でありました。

後で聞きましたら31名とのことでした。ただ残念なのは若い人の参加が見えなかったことです。議員が村の問題点や課題を議会で質問をして村の考えを確認していましたが、質問をもう少し整理して質問するとなお分



若者や女性が見受けられないのが残念

塩原道子(上竹田)

山形村議会定例会の様子を見にいこうということで、誘われるまま行ってみた。役場2階の議場へ入るのは初めてのことである。

テレビで見ると国会さながらの立派な議場にまず驚いた。丸く囲まれたテーブルと椅子。整然と並ぶ議員と関係者。そして傍聴席とはいえば出席者全員を見渡せる高い位置に用意されている。

議会は始まって、たし、私の聞いたのはほんの一部であるため一概には言えないが、全体的に大人の

議場入口に置かれた一般質問告知書を持ち入場すると、右手の議場では審議の継続中であつた。左手の傍聴席数は40席くらいい見たが、埋まっていたのは半分くらい。傍聴者の多くは年配の方に見え、女性は1名。私が入場したのは午後3時半頃で、5時過ぎに終了。この間に11人中3人の質問を聞くことができた。議員の質問事項は2週間前に告知されており、当日は

特集 休日議会 傍聴席から一言

原文のまま傍聴者に示されていたので質疑応答の理解に役立つ。議会中継はTVで見たことあったが、今回は質問議員と答弁者の緊張感が伝わってきた。日曜議会だけに、期待した若手の傍聴者が少なかったのは残念。事前に村のホームページで質問事項が閲覧可能ならば、議会傍聴への関心が更に高まるのではないだろうか。



議会を村民に

知っていたら第一歩

稲田元宏(小坂)



質問事項の事前告知に

村のホームページの活用を

百瀬文栄(下竹田)

旬の味

12月15日第4回の議会定例会が閉会となった。今回の議会は、村議会始まって以来初めて開かれた、休日議会であった。

一般質問を日曜日に行ない、多くの村民の皆様様に議員の活動の一端を直接議場で傍聴いただき、村政をいかに身近にし、住民参加を促進するかという話し合いの中から始まった。足をお運びいただいた皆様様に感謝を申し上げます。

さて、一旦世界情勢に目を向けると、アメリカ次期大統領にトランプ氏が選出され、また韓国の大統領朴槿恵氏は弾劾訴追されるという一見他国から見ていると思っていた事と違う結果や方向になった。ただ言えることは、民意をいかにつかみ行動したかが最終的な結果に繋がったと思われる。

昔前は、「アメリカが咳をすると日本は風邪をひく」と言っていた時代があったが、今や世界中がどうなるか想像することさえも困難である。

平成29年は、向こう4年間を託す村長を選ぶ年となる。村の将来を如何するかを、しっかりと政策で競って欲しいものである。村民の選択は重い。新年が明るい年であることを願うばかりだ。

三澤 一男

編集後記

12月定例会一般質問は、山形村議会初となる日曜日に一般質問を行なった。村民の代表である議会、議員と村民の距離を縮めるために取り入れた。傍聴者が30余名。満席となり補助椅子で対応した。概ね評判は良かったと聞かされた。緊張感を保ち、理事者の政策論争をする「議員力」の発揮できる場としたい。

議会広報編集特別委員会

- 委員長 籠田 利男
- 副委員長 小林 武司
- 委員 新居 禎三
- 委員 増澤 武志
- 委員 大月 民夫
- 委員 平沢 恒雄

さて、本広報が配布される頃は村長選挙の大詰めのごろだ。各陣営は公約を示して支持を取り付けているだろう。候補者の公約は村民にはどう映っているか。陣営の都合良いように宣伝